

# 夏号

- 表紙 / 誠実さを生かすために  
 2p / ボランティア通信  
 3p / ISO内部監査とは何か?  
 4p / 感染症と食中毒予防  
 5p / 下田中学福祉体験  
 高校生インターンシップ  
 6p / 石川日記、編集後記



昨年一月末に胃の全摘出手術を受けました。七十歳にしてうまれて初めての入院手術です。友人が勧めてくれたがん検診の結果、早い段階で見つけてもらうことができました。

退院後は順調に回復し、先日、黒船祭りが終わった直後には梓友会みくらの里にお招きいただきISOマネジメントシステムのセミナーの講師を勤めさせていただけになりました。

主治医の先生は私にがんを告げたとき、びっくりしないように気遣ってくれましたが、そのときは「来るものが来たか」という感じで妙に落ち着いていました。友人、知人にはがんになった人もありました。自分には遠い出来事だったので。手術前の検査を含めて、入院は四週間ほど。検査、手術についての説明はきちんとしていただきましたが、すべて想像の及ばないことばかりで、次は何が起こるのかという不安がありました。手術当日は、病室で着替えをしてエレベーターを降り、ドアが開くとその先にまたドアがある、いよいよ決められた部屋の前に着くと、左手首に差し込んだ点滴用の針などの点検を終え、一段とひんやりしたなかで手術台の上に乗りました。



## 誠実さを生かすために

永野 康雄

株式会社 シスウエイ顧問  
 梓友会でISO(品質マネジメントシステム)導入にあたり、指導や内部監査員の研修講師

手術台は思いのほか幅の狭いものでした。こんな光景が、映画のように記憶に焼きついています。全身麻酔から目を覚ました時は感謝の気持ちで涙がとまりませんでした。

入院中は、設備・医療技術の充実、医師と看護師の昼夜をおかぬ働き振りを目の当たりにし圧倒されました。一言で言えばここには「誠実さ」という心棒が貫かれているように見えました。患者の疑問や訴えについても納得のいく態度で対応してくれました。家族ともども、治療と癒しのバランスが取れたこの病院には全幅の信頼をおくことができました。

みくらの里では、施設の提供するサービスの向上によって、利用者・家族の皆様が満足いただけるよう全ての職員が組織的に取り組んでいます。ところで難しいのは、本当のところ利用者・家族の皆様は当所のサービスをどのように評価しているかを知ることです。サービスを受けてみて初めてわかることがあるのは、私の入院体験で述べました。「アンケート調査」は利用者・家族の受け止め方を聴き、より質の高いサービスを提供するためのひとつの手段です。回答者自身に役立ち、他の人のためにもなりますからできるだけ回答を寄せるようにお勧めします。

利用者・家族・施設の皆様を手を携えて福祉の道を着実に進まれることを確信しております。



## 憂鬱なメタボ診断

皆さんは健康診断を定期的に受けていますか？ 私たちみくらの里ではご利用者を含め職員全員が定期的に健康診断を受けています。

今年の四月より、医療制度改革の一つとして、メタボリックシンドローム対策に重点を置いた新しい健康診断が実施されています。具体的には四十歳～七十四歳を対象にウエスト周囲径の計測が必須となっています。またその他の検査からメタボリックシンドロームのリスクの有無を調べ、リスクの程度に応じて保健指導が行われるそうです。気になるウエスト径での判定は、男性85センチ以上、女性90センチ以上を基準値としており、この数字は腹部CT画像で精密に内臓脂肪を測定した場合、断面積100平方センチメートルに相当するそうです。

年齢を重ねるにつれ、自分の体積が徐々に増していくことを実感していた私もこの検診は他人事ではなく、付け焼刃的な対策を施しざ受けてみたものの結果は・・・自分の体のことは自分が一番わかっているサ、などと現実から目をそむけ暴食を繰り返していた日々を反省しています。

一雨ごとに暑さが増すこの季節、薄着になるにつれ肩身が狭くなる思いをしていると、「ご利用者の方々からは「頑丈でいいじゃないか」と優しく声をかけてくださいます。



入居されているご利用者についてのご相談やショートステイ・新規入居に関することは、私たちにご気軽にご相談ください

皆様から慰められながらも、自分の生活を変えなくては！と一念発起し少しずつではあります運動をはじめていきます。皆様も自分の健康状態を把握し、健康に気持ちよく毎日を送ってください。

みくらの里 相談員

石川麻衣

みくらの里相談員の皆さん

右から

福島正義さん  
本村信大さん  
石川麻衣さん



## 編集後記

大雨による土砂災害、交通規制や列車の運行見合わせ等のニュースが多かった今年の梅雨もそろそろ明けて本格的な夏がやってきます。

いつも、竹の子のようにたくさんの衣装を身にまとっているご利用者のAさんもさすがに上着のチャンチャンコを脱いでいらっしやいました。

夏号より、三年間続けて掲載していた「栄養室より季節のメニュー」はしばらくお休みし、相談員の石川さんより、いろいろな楽しい話題をお届けします。「栄養室」は西田栄養士の充電後に再開する予定ですので楽しみに・・・今回はみくらの里のためにご協力していただいているボランティアの方々、五月・六月に訪問して行ってくださった活動を掲載しました。十月十八日には日頃の感謝を込めて地域の方々やボランティアの皆様、ご利用者のご家族対象にみくらの里祭りと、ボランティア交流会を開催する予定ですので是非ご参加お待ちしております。

また表紙の永野氏には、お忙しいところ原稿をお寄せいただき感謝しております。永野氏が述べておりますように誠実な対応で皆さんの信頼を得られる施設にしていきたいです。

広報担当

富田

# 下田中学校 福祉・ボランティア体験学習



車椅子の操作方法や留意点の説明を真剣な表情で聴く中学生・・・相談員の本村さん、福島さんの説明にも熱が入ります。



目をつぶって車椅子に乗ります。車椅子を押す人が声をかけないと、乗っている人は怖い～

六月十一日下田中学校の一年生二十一名が福祉ボランティア体験でみくらの里へ体験学習に見えました。本村相談員と福島相談員から『介護心得と車椅子操作で気をつけること』を学びました。車椅子に乗る側はそれぞれ目を閉じて乗り、操作する人は段差越えの練習を行いました。乗車している人に声かけをしなから操作しないと乗っている人はとても不安との感想で、声かけの大切さを学びました。その後、各ユニットに分かれ昼食の配膳や下膳を手伝い、午後は各ユニット内で、お年寄りとのコミュニケーションを楽しみました。



昼食後は各部屋で、カルタ取りや折り紙、オセロゲーム等のレクリエーションを楽しみました。そこに中学生がいてくれるだけで楽しい気分になるとおっしゃるご利用者でした。



## 高校生インターンシップ

6月9日(月)～13日(金)までの5日間、県立下田高等学校南伊豆分校3年生男性2名がインターンシップ(就業体験)に見えました。今回、就業体験に来た2名は昨年に引き続き2度目の体験となりますので、ご利用者ともすぐ馴染み、ケアスタッフからも頼りにされていました。その2名の内の美澤さんからはご利用者と一緒に下田城山公園のあじさい見学に出かけた事が「とてもよい体験でした」との感想を寄せていただき、もう一人の石井さんからは「卒業したら福祉関係の学校に進学し、介護の仕事をしたい」と将来の目標を定めた手紙を戴きました。頼もしいお二人で、将来が楽しみです。



# ボランティア通信

## 平成20年度 ボランティア連絡会開催について

4月17日(木)にみくらの里ボランティアルームにてボランティア連絡会を実施しました。出席して下さった4団体の各会長と・19年度の活動実績・20年度の活動予定・要望や意見交換などを行いました。今年度の活動として、それぞれの活動のほかに10月に開催される予定の「みくらの里祭り」と「個別外出支援」への協力をしていただけることになりました。みくらの里も開設から四年目を迎えることができたのにはボランティアの皆さんのご協力・ご理解があつてのことと感謝しております。これからもより一層ボランティアの皆さんとの連絡を密にし、ご利用者の皆さんに喜んでいただけるような活動をしていきたいです。

5月22日(木)フレンズの皆さんがレクリエーションボランティアに来て下さいました。3階のご利用者中心に、軽めの体操や手話を交えた歌を皆で歌ったりしました。ちょうど5月で端午の節句ということもあり、ご利用者は手作りの兜をかぶって「こいのぼり」を合唱し楽しいひと時を過ごしました。

5月30日(金)いきいきしもだ白浜地区婦人部の皆さんが清拭作りをして下さいました。2階の多目的ホールにご利用者の皆さんも集まり、ボランティアの皆さんと一緒に清拭切りを行い、たくさんの清拭を作っていただき、ケアスタッフは大変助かりました。

6月18日(水)南伊豆歌謡サークルの皆さんが歌や踊りを披露して下さいました。2階のカラオケクラブのメンバーをはじめ歌好きのご利用者が集まり、歌謡サークルの皆さんの熱唱に聴き入っていました。みくらの里からはもと歌謡サークルのメンバーで現在みくらの里カラオケクラブのリーダー稲葉勇さんが代表で「無法松の一生」を歌って下さいました。

6月12日(木)花水木の皆さんがデイサービスのご利用者に日舞と歌を披露して下さいました。華やかな衣装と踊り、「りんごの歌」「青い山脈」等の馴染みのある歌をご利用者も交え合唱し、楽しい雰囲気椅子から立ち上り踊りだすご利用者もいらっしゃいました。

6月22日(日)豊水会の皆様が日舞と尺八・民謡を披露して下さいました。豊水会にはみくらの里3階12丁目ユニットのケアワーカー青木福美さんも入会しており、優美な踊りでご利用者の皆さんを楽しませてくれました。

